

令和2年度 まちづくり部会の取り組みについて

【令和元年度での方向性と現状】

○公共交通に関する勉強会

- ・新たな移動手段の構築に向けて区内で実証実験を検討しているため、その内容を共有し、今後の各地域の移動手段に関する認識を深める。

⇒大江山地区において実施手法・実施可否について、関係者で協議中

- ・地域に即した移動手段等について、有識者等による講演の開催

⇒新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、保留中

○各種イベントを通じた江南区や自治協議会のPR

- ・好評だった新潟ハーフマラソンでのブース出展など、大規模イベントを通じて、江南区の魅力を市内外へ発信する。

⇒新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から様々なイベントが中止

来年の新潟ハーフマラソンの開催は現時点で未定だが、新潟シティマラソンも中止であることから中止の可能性が高いと思われる。

【上記を踏まえた今年度の取り組み】 まちづくり部会の予算:約 100 万円

- ・大江山地区の実証実験の手法や結果の共有など勉強会は継続する。
- ・有識者を招いた講演会を実施するか、実施しないか。
- ・イベント等が中止となるなか、予算の活用方法をどうするか。

(活用案)

- ・江南区や自治協をPRするためのグッズ制作
- ・区役所企画事業の実施状況を踏まえ、予算が足りない場合は提案事業で支援
- ・区バスの車両変更に伴うPR（例：バス停丸板のリニューアル）

